

取組概要

渡町台小学校では、全教職員で1学期の生活科・総合的な学習の時間の取組（成果や課題）や夏季休業中の取組（学級・学年の授業準備等）・今後の学習計画を共有し、2学期以降における実践の見通しをもつ「実践報告会」を開催している。

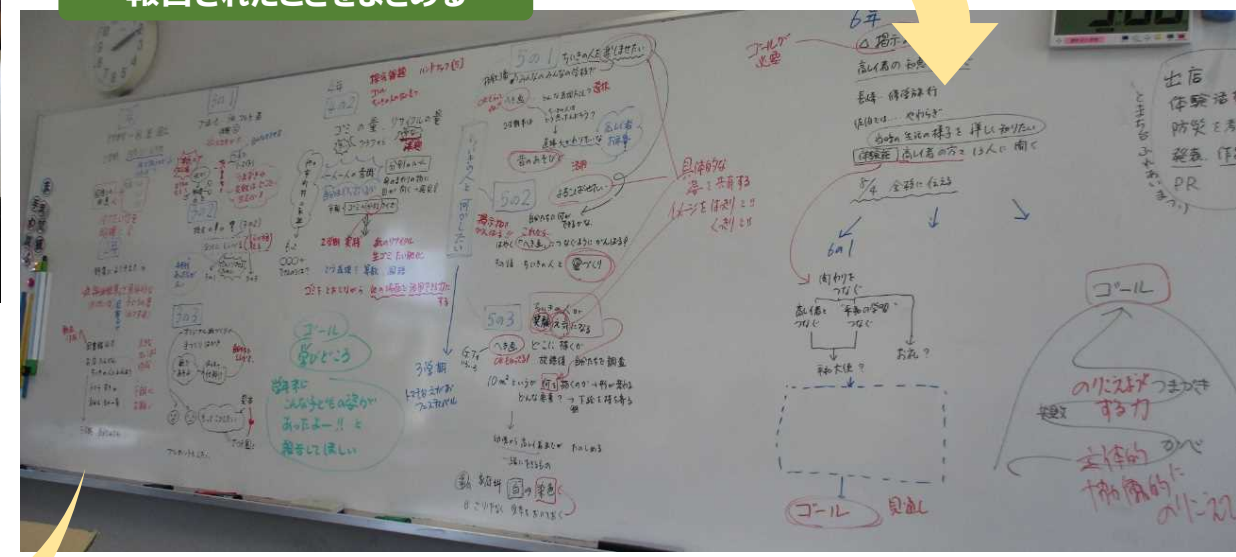
工夫・ポイント

- ◆ 学年ごとに「夏休みに頑張ること」「2学期に頑張ること」を記録して共有し、実践への意識を高めるようにしている。
- ◆ 学年・学級ごとに取組状況を報告、研究主任が板書して共有。「目指す子どもの姿（ゴールの姿）」「子どもたちが本気になる場面（学びどころ）はどこか」「各教科等との関連」等について意見交換しながら、2学期以降の実践の見通しをもつ。

学年・学級ごとに報告→研究主任がまとめる



報告されたことをまとめる



- 1学期の取組の振り返り、夏季休業中の取組の進捗状況を確認。
- 2学期に頑張ること・取り組むこと・予定等を報告しあう。

- 具体的な評価規準を定め、実践を進める中でそれが実現されたエピソードを、今後の実践報告会で共有する。
- 年度ごと、学級・学校ごとの取組（単元名やテーマ等）を一覧にしてまとめておき、子どもの学習経験を把握するとともに、次年度の単元計画立案の参考とする。

単元の具体的な評価規準を設定すること、子どもが失敗やつまづきを乗り越える場面こそ学びがあり本気になること、（その場をどう生み出すか）各教科等との関連を図っていくこと等を共有